

# ZAM<sup>®</sup>製鋼管

環境にやさしい、省資源対応の特殊めっき鋼管。

H28年度版防護柵の設置基準に  
各種防護柵に適用可能な材料として  
JIS G 3323 (ZAM<sup>®</sup>) が追記!

## ZAM<sup>®</sup>製鋼管とは

**種類** 亜鉛、6%アルミニウム、3%マグネシウムのめっき層を持つ新しい溶融めっきです。[JIS G 3323対応可]

**特長** ①3%のマグネシウムの添加により、優れた耐食性と犠牲防食能を兼ね備えています。  
②長期耐久性によるメンテナンスコスト低減が図れます。  
③少ないめっき付着量で高い耐食性を示すことから、環境負荷が少ない、環境に優しい製品です。

**用途** 一般構造用の様々な用途・分野 (HDZ鋼管代替として) への適用が可能なプレめっき鋼管です。



POWERED BY  
**ZAM<sup>®</sup>**  
www-zam.nipponsteel.com

※「ZAM」は、日本製鉄株式会社の登録商標です。

## ZAM<sup>®</sup>製鋼管の特性

### ①優れた耐食性と犠牲防食作用を誇ります。

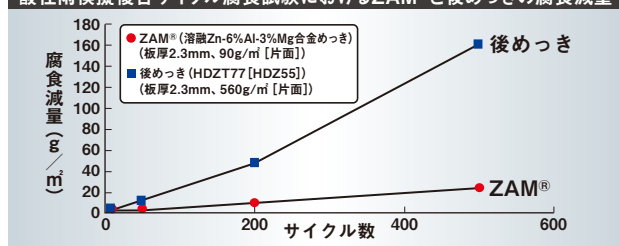
- ・溶融亜鉛めっき鋼管と比較して、耐赤錆性がきわめて優れています。
- ・また、塩害環境下で特に優れた耐食性を示します。
- ・疵付部においては、めっき層から溶け出したマグネシウムを含む緻密な亜鉛系保護被膜が疵部を覆うことにより、優れた耐食性を発揮します。

●ZAM<sup>®</sup>鋼板の耐食性については建設大臣認定機関で審査証明を取得済みです。

(一財) 日本建築センター「BCJ-審査証明-85」

(一財) 土木研究センター「建技審査 第0122号」 ※日本製鉄(株)資料より

酸性雨模擬複合サイクル腐食試験におけるZAM<sup>®</sup>と後めっきの腐食減量



### ②切断面の鋼素地を保護し、赤錆の進行を防ぎます。

マグネシウムを含む亜鉛系保護生成物が端面を覆い、赤錆の進行を防ぐ機能を持っており、鋼素地の腐食の進行を抑制します。

### ③キズがつきにくく、美観を保ちます。

めっき層が強固なため、キズが付きにくく美しさが長持ちします。

他めっき品との比較		
	硬さ (Hv)	スクラッチ試験 疵付荷重/gf
ZAM <sup>®</sup>	140 ~ 160	16
熱浸漬めっき亜鉛	55 ~ 65	5
溶融亜鉛めっき鋼板	55 ~ 65	4

※社内試験による

### ④作業能率を上げ、トータルなコスト低減が図れます。

穴あけ加工部の補修は簡単でよいなど、作業効率を上げトータルなコスト低減が図れるため、熱浸漬亜鉛めっき中径角管の代替として適しています。



NIPPON STEEL

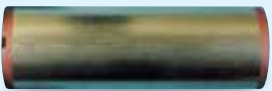






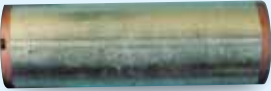
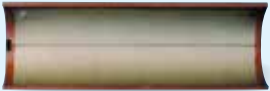



日鉄めっき鋼管

【塩水噴霧試験 (JIS Z 2371)】

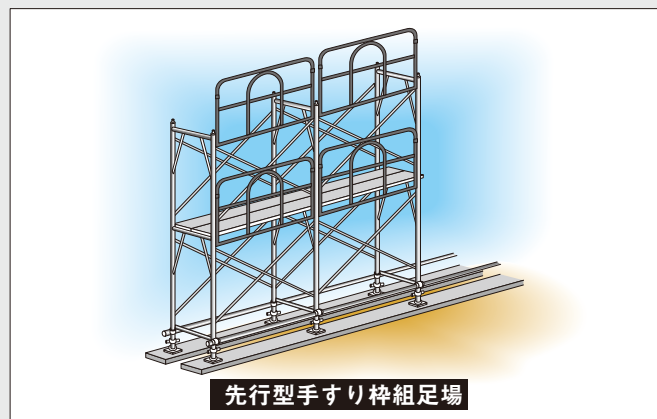
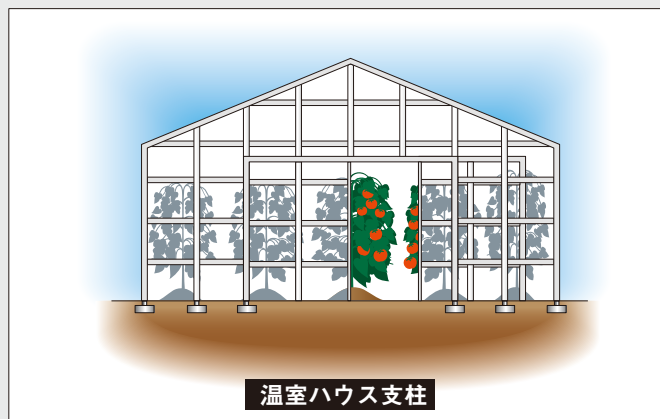
**耐食性試験結果** ((財) 日本ウェザリングテストセンター)

ZAM<sup>®</sup>製鋼管は、「長寿命化が図れ」「少ないめっき付着量で高耐食性が得られる」という観点から、省資源対応の環境にやさしい鋼管としての展開が期待されています。

また、鋼管の溶接部のビードカット面は特殊な溶射補修を施していますので、鋼管全体に高耐食性を維持します。鋼管内面のビード部も犠牲防食作用とマグネシウムを含む緻密な亜鉛系保護皮膜により防食されます。

		外面	外面ビード部	内面ビード部
ZAM <sup>®</sup> 190	試験開始前			
	2000時間終了			
HDZT56 (HDZ40)	試験開始前			
	2000時間終了			

【用途例】



【ご注意ならびにお願い】 本資料に記載された技術情報は、本資料の発行時点における弊社製品の一般的な特性や性能を説明するためのものであり、それによって何らかの保証をするものではありません。



**日鉄めっき鋼管株式会社**

本社	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 (秋葉原UDX13F) TEL.03-6625-6760 FAX.03-6625-6751
東京営業所	〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 (秋葉原UDX13F) TEL.03-6625-6770 FAX.03-6625-6751
大阪営業所	〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋4-1-1 (淀屋橋三井ビルディング5F) TEL.06-6252-1920 FAX.06-6252-1923
名古屋営業所	〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦2-13-19 (瀬定ビル6F) TEL.052-588-2370 FAX.052-588-2371

販売店